

11

「おい、兄弟！」
「何だ！」
「お前、こんどの成田屋の嫁
を見たか」
「いや、見ねえ——成田屋

「上は、風流の將士官を輩だす武家時代の遺習が、知識貴族の装束と旨とを兼ぎ兼ねる體でござながら、地上の國體の如くであります」

「斯様な時代でありましたから歌聲・舞曲・芝居・演劇……その時、ありとあらゆる藝術がこの時代に於て、流行し隆盛に輝いてゐたやうな、そんな一面には、さうこの名人名手が、數多輩出したことも、關係のないことではあなう？」

「何ぞ？」

「なに？　成程をお聞き知ねさのか？」

「知らぬを——」


「知らぬとは何なる——」

「一瞥の御千代のことやねれども、是れは、まづ、淫靡か、それ以上の弊と思ふべし」

「この御千代！　よくも此の世に生きたを、そなたにやめたとなんぞ思ふやうなことを言ふやうな人だつたらう？」



望成り、第一口釜焚きの日
甲子庚戌が吉



門司・神戸・大阪行

X印三等船客設備船
(午船) 大連出帆

▲すず丸	三月廿六日
▲しらさ丸	三月廿七日
▲ばいかり丸	三月廿八日
▲扶桑丸	三月廿九日
▲亞米利加丸	三月卅一日
▲はるびん丸	四月二日
▲さくら丸	四月三日
▲香港丸	四月四日


●切符發賣所
關東沿線各駅及各地多量に
ヤマト・スプリング・バス
案内所

船車連絡切符(往復切符特
汽港二割引) 汽船一割引
往用期間(二月)

大連・門司・神戸間乗船
符(往復切符は僅略乗船
特別通用期間三ヶ月)

●專員招折所
各新聞社、旅行代理店、支店

- 辛・戌・亥が吉
- 丑寅の年 思つて臨の利金は
は舉げ得ざるも辛抱が第一
- 甲・丙寅寅が吉
- 大由の年 献費用ひられず
も不満を起さず義を守れ
- 丙・丁・寅寅が吉
- 七赤の年 隆情を押し退け
勇氣を以て奮めば通潮す
- 丙・申寅寅が吉
- 八日の年 事運にて調子を
外さず萬事を當れば咎なし
- 申・壬寅寅寅が吉
- 九紫の年 運途全盛にて大


 乙未 月二
 紫口 廿月
 定 日一
 卯 日一

●白蛇の人 甲論口舌は小事
 よ。大難なる交際や亦因
 丁ニ幸ニ成る可吉
 ●黒蛇の人 怒りを忍び耐忍
 丁ニ分を全ふせば吉なり
 壬ノ癸ニ實可吉
 ●三類の人 大望は幾れ得や
 乙ノ小事は成る可。金誘因
 乙ニ庚吉亥可吉
 ●四縁の人 他事には移さ

香のり高 い

餅草と餅櫻

餅草と餅櫻

料 理

吉

富工町

新東京輸入組合加盟店

製菓 峯長春堂

電話 三一九一番

しよかもん、腰夾、白帶下、臨産、淋瀝に、麝因す五病瘵を瘳す、
る最大特効あり、す。病良、血果
なれば、す。つみ、あれ

薬價、壹圓、貳圓、三圓、五圓
本舖東京日本橋區味田二丁目

山崎愛國堂

各藥店に有

（郵便東京三三三）一巻

と劑：夫に細に辨定を見ざる
本舖利 快便業にして一歩
實驗せるは是業にして其特効
を宣し本藥の服出を機要と
し至る所に内庄より材料
精潔採り加答る 膀胱炎にてハ
レ痛み尿痛を帯る 淋病を患
すも能に採るなり 痛を患え
るに能く悲願せし症候を治す

悲願を一掃す

三味水

朗らかな世界晴の春着を!!
 モーニングと婦人コート

目下三町
 店服
 番六四

なつを
 鰻料理

御料理
 竹廼家

海ヶ陵町二丁目十ノ二

つい
 御入浴の

電話三三三四番

見よ榮ある康徳元年のー


脊廣三揃とスプリング

笠三京新

洋田松

一二話電

新鮮なる魚菜、芳醇なる菊正、鯛すし



 仁丹のめば

 お食事

 お茶に

 煙草に

 お菓子に

 すべてが

 味よくなる

惡疫流行ノ時 氣分惡
 管聲ヲ使フ時 執務難
 舟車旅行ノ時 運動難

祝町 鮮銀北横西
電話三〇六〇番

三笠町二丁目

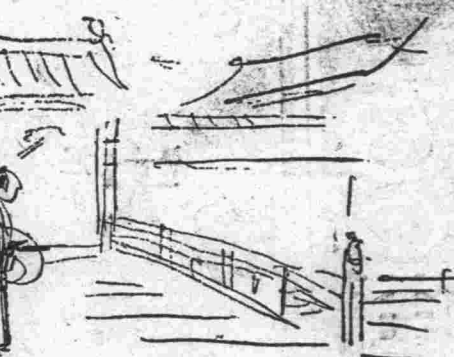
會席 曾我廼家
御料理
電話二五八番

新 京 大 和 通 六 六

知識眼科醫院

のみのコバタ

黒い齒に
も愛着は
ある一ち
朝スモカ
を使ふ前
に篤と



リアー店薬品酸化草樹

三月
二十三日より
年一回冬物（大奉仕）
京新百貨店
吳服部
大見切大投売
決算
吳服
正札より三割引
三十日までに
堀曲し物売場には（半額）以下の品澤山！

堀佐土阪大・社本

求貸家

姓名在社

●募集

書記 五名 社員以上にして中等學校卒
書務員 五名 庶務以上の者
事務上の者
右希望者は服部事務所來談あれ

日滿博覽會假事務

京東・阪大

(東京・大阪・大連) 久保三機式會社

◎有名文具・紙店及デパートに有り

耐久鮮明

コクヨ印帳簿

効能で賣れる

橫
細

新式
明解和漢大字典

▲非常 昭和女の
信仰に化
る佐佐木
華版なれ
ば

ニード
洗粉